

【概要】

- 東北地域において、①デジタル技術を駆使し、
i) 製品・サービスの高付加価値化や新事業展開 ii) 業務プロセスの効率化等を実践し、DXに挑戦する企業②DXに資する人材育成等の**支援を積極的に展開する団体等**の中から、**特に優れたものを表彰し、広く発信**、東北地域における事業者等のDXの推進に寄与することを目的に、**「TOHOKU DX大賞」**を本年度新たに創設。
- 具体的には、①製品・サービス②業務プロセス③支援の3部門を設け、各々最優秀賞1件、優秀賞2件 計9件程度を表彰。
 - ・最優秀賞： 東北経済産業局長賞
 - ・優秀賞： (一社)東北経済連合会 会長賞
東北地域情報サービス産業懇談会 (TISA) 会長賞

ロゴマーク
の紹介



TOHOKU DX大賞

- 新芽がモチーフ。デジタルのDをベースにXが無限に芽吹くように∞の形を模しました。
- エックスの緑色は東北の自然をイメージ。さらに、グリーン成長、サステナブルな取組の必要性も想起させるものとしています。
- なお、Dはデジタル(フォント)、Xはアナログ(手書き)で、より良い未来を創るのは、「人」(アナログ)であることも忘れない、強調したいといった想いもあります。
 考案:事務局

TOHOKU DX大賞 受賞記念フォーラム

～コロナ時代のニューノーマルをより良いものへ 結いを育み、育てよう～

要事前申込

視聴無料

東北地域において、DXに挑戦する企業やDXに資する支援を積極的に展開する皆様の中から、特に優れたものを表彰し、広く発信することで、地域のDX推進に寄与することを目的として、「TOHOKU DX大賞 受賞記念フォーラム」を開催します。

本フォーラムでは、表彰式と併せて、日本マイクロソフト(株)執行役員 伊藤かつら様から基調講演として御講話いただくと共に、受賞された皆様から受賞案件の御紹介をいただきます。

日時：2021年11月26日(金) 13時10分～17時00分(受付開始 12時50分)

対象：デジタル化に関心を有する事業者等の皆様

開催方法：オンラインLIVE配信 ※表彰式等は「CROSS B PLUS(仙台市)」にて開催

プログラム

【第一部】 13:10～14:05

表彰式
・賞状授与
・審査講評

【第二部】 14:10～17:00

(1) 基調講演 14:10～15:10

『ヒトから始まるDX』

日本マイクロソフト株式会社 執行役員 伊藤 かつら 様

日本マイクロソフト株式会社 執行役員、チーフラーニング オフィサー、プロフェッショナルズキル開発本部長。
 日本アイ・ビー・エム、アドビシステムズ等外資系ソフトウェア企業で、フィールドエンジニア、プロダクトマーケティング、ビジネスマネージメントなど多様な経験を経る。2011年日本マイクロソフト株式会社入社。
 2013年執行役員ディベロッパー エンジェリズ担当、クラウド、AI、ホロレンズといった新規テクノロジーを軸にデベロッパーリーレーション、開発ツール営業、テクノロジーエンジェリズを統括。
 2017年よりカスタマーサクセス事業本部長、カスタマーサクセスという新しい役割を立ち上げると同時に、多くのお客様の働き方改革にもかかわる。
 2019年より現職。クラウド&AIの人材育成を顧客向け、パートナー向け、社内向けにドライブ。
 2021年より野村不動産HD取締役(社外)、国際調酒師、WSET Level3 in Sake取得。
 日本酒をととした地方の価値創造がライフワーク。



(2) 受賞案件紹介 15:15～17:00

①製品・サービス部門、②業務プロセス部門、③支援部門 より部門ごとに最優秀賞1件、優秀賞2件、合計9件程度を表彰予定です。

※視聴申込方法は裏面をご参照ください。

主催：東北経済産業局

共催：東北地域情報サービス産業懇談会、(一社)東北経済連合会

受賞一覧 <製品・サービス部門>

【最優秀賞】（東北経産局長賞）

<受賞者>

株式会社弘栄ドリームワークス

所在地：山形県山形市

<タイトル>

パイプ探査ロボット「配管くん®」
を活用した、設備業における配管調
査のデジタル化

<概要>

本パイプ探査ロボットは、カメラと位置計測センサーを搭載し、内部の映像と位置情報を取得。取得した位置情報から、図面を作成、映像情報から配管の状態を把握。**当社の本ロボットのみの映像と位置情報の双方を同時に取得可能とし、対応する配管の内径も25mm～150mmと他社が対応できない100mm以下の配管にも対応。**また、取得した映像・位置情報は、クラウドサーバにビッグデータとして格納され、**映像解析等を含めたAIによるデータ解析も可能**としている。



【優秀賞】（東経連会長賞）

<受賞者>

株式会社SRA東北

所在地：宮城県仙台市

<タイトル>

人工知能技術を活用した次世代型インフラメンテナンスサービス THE JUDGE（ザ ジャッジ）

<概要>

本サービスは**AIを活用したサビの腐食度合いを判定し、自社の設備状況を可視化分析するサービス**。現状のプラント検査分析は人の目で行われているため、検査する人のスキルに影響し、そのため、誤った検査結果が出てしまうなどのリスクもあり、常に安定稼働させる必要がある設備等については事業停止などのリスクが潜在。本サービスでは**人間の目に代わるVISIONとしてのAIを採用し、常に一定の判定基準で安定的な分析を行うことを可能**としている。



【優秀賞】（TISA会長賞）

<受賞者>

山形東亜DKK株式会社

所在地：山形県新庄市

<タイトル>

IoTの活用により遠隔監視・制御可能とした畜産排水処理監視システムを開発・商品化

<概要>

本システムは、有機物を分解する際に電流を発生させる発電細菌を利用することで、汚水のBOD値を6時間で予測。これにより、**運転制御の応答性を高めて過剰な曝気を削減し、電力消費の削減（実証実験では20%～30%削減）と脱窒（汚水中の硝酸性窒素等の除去）効率を向上させることに成功。**

さらに専用IoTシステムを構築し、スマートフォン等による測定水質の遠隔監視や水質異常の早期検出（アラートメール）機能を実装。施設保守管理のテレワーク対応を可能にしている。

